

たじみの公共施設

5

問 公共施設管理室
林 TEL 22-1376

多治見市は平成28年度に第8次行政改革大綱を策定し、全国平均より約2割(市民一人当たりの延床面積ベース)多い公共施設に対する取り組みを進めています。

これまで公共施設のスリム化を図る手法(複合化、集約化)について紹介してきましたが、今回は公共施設にかかる負担を軽減する「長寿命化」について紹介します。

長寿命化とは、施設をできる限り長く、良好な状態で使い続けるため、計画的に修繕を行うことです。施設の長寿命化に当たっては、不具合が起きてから行う事後修繕だけでなく、不具合が生じる前に対処する予防保全を積極的に行うことが必要です。

多治見市では、各施設の修繕履歴などを記載した公共施設カルテを整備し、計画的かつ効果的な修繕が実施できるように取り組んでいます。今後

は、必要な公共施設については長寿命化を行い、建て替えや大規模修繕の時期を分散させ、財政負担の軽減を図ります。



▲外壁タイルが剥がれ落ちないように、日常点検(外壁打診調査など)や予防保全を行っています。

市の公共施設の現状を把握できる公共施設白書をホームページに掲載しています。



たじみのNPO団体を知ろう

NPO 法人思いやりの糸

問くらし人権課 犬塚 TEL 22-1134



私たちは、福祉の視点からまちづくりをしながら持続可能な共生社会づくりに貢献しようと、平成27年7月にNPO法人思いやりの糸を設立しました。「思いやりの糸」とは中島みゆきの歌「糸」からの引用です。縦の糸、横の糸で織りなすことでさまざまな布ができあがります。互いになくてはならない存在であることから、社会のいろいろな糸がつながり、織りなされると、地に足の着いた力強くしなやかな布(共生社会)ができるのではないかと思います。思いから命名させていただきました。主な活動は、篠笛を中心とした



▲篠笛演奏の様子

文化人材育成活動、高齢者の手伝い(田や畑の手伝い、不用品整理など)、国際交流活動やリサイクルセンター活動を通

じた多世代の交流、障がい者の生きがいの場(作業場、就労場)や高齢者や外国人などの生きがいづくりの場の提供です。



▲活動の様子(ハロウィン)

思いやりの糸でつながることで地域が若い世代に希望が持てる社会へと活性化することができたらと思います。

問 NPO法人思いやりの糸
産業文化センター2階 A-1
代表 廣瀬 豊 TEL 74-5655

※イベントなどの情報はフェイスブックに掲載しています

